

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		言語聴覚障害診断学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		1年生		学期及び曜時間	後期 6,7限他	教室名	401他
担 当 教 員		浜田 広幸 西根 清夏	実務経験と その関連資格	(浜田) 社会医療法人栄公会グループにて言語聴覚士としてリハビリテーション業務に 従事していた			
《授業科目における学習内容》							
言語聴覚障害における評価・診断の理念及び過程について学ぶ							
《成績評価の方法と基準》							
言語聴覚障害における評価・診断の理念及び過程について学ぶ							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
授業は資料を配布し、PCスライドで授業を行う、また適宜グループワークや検査練習を行う 参考図書: 言語聴覚士テキストー 第4版ー 医歯薬出版株式会社 参考図書: 標準言語聴覚障害学 言語聴覚療法 評価・診断学 医学書院							
《授業外における学習方法》							
事後学習として、授業内で配布される資料や実施される各種検査を適宜見直し知識の定着に努めて下さい							
《履修に当たっての留意点》							
言語聴覚障害における評価・診断の重要性について理解し、学習に取り組んで下さい							
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	初診時の臨床活動の流れが説明できる		・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図 書である、言語聴覚士テ キストの該当項を一読し ておく	
		各コマに おける 授業予定	言語聴覚療法における評価・診断について学ぶ				
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	臨床活動における測定について説明できる		・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図 書である、言語聴覚士テ キストの該当項を一読し ておく	
		各コマに おける 授業予定	評価の手段としての検査・観察について学ぶ				
第 3 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	検査の感度と特異度について理解し、算出することができる		・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図 書である、言語聴覚士テ キストの該当項を一読し ておく	
		各コマに おける 授業予定	スクリーニング検査の重要性について学ぶ				
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	感覚系の概要について理解し、各種検査の概要について説明 できる		・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図 書である、言語聴覚士テ キストの該当項を一読し ておく	
		各コマに おける 授業予定	自覚的検査と他覚的検査について学ぶ				
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	測定の妥当性、信頼性について説明できる		・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図 書である、言語聴覚士テ キストの該当項を一読し ておく	
		各コマに おける 授業予定	妥当性と信頼性について学ぶ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	尺度と単位について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンについて説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	刺激と反応について学ぶ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各精神物理学的測定法について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	感覚測定法(精神物理学的測定法)について学ぶ		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	認知症について説明、評価方法を説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	認知症について学ぶ		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感覚閾値の基本的な定義について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	閾値の概念について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知情報処理、高次脳機能の概観について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	認知情報処理について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	観察記録の内容や方法について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	観察と観察記録について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査の流れや検査環境について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	検査場面の枠組み及び、検査の流れについて学ぶ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	確認問題や演習問題に解答することができる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第1～13回の内容を確認問題や演習問題を通して復習する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価や診断の目的について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	言語聴覚診断学について学ぶ		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価・訓練内容について理解し、説明することができる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション訓練までの臨床的な流れについて学ぶ		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	初回面接・スクリーニングのポイントについて説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	対象者観察の方法(初回面接・スクリーニング)について学ぶ		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクリーニングにおける具体的項目について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	対象者観察の方法(具体的項目)について学ぶ		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種知能検査の概要について説明できる	・PCスライド ・配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	対象者の検査について学ぶ		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種記憶検査の概要について説明できる	・PCスライド ・配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	対象者の検査について学ぶ		
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	失語症患者の臨床像をイメージできる	・映像機器 ・配布資料	事前学習として、失語症への理解を深めておく
		各コマにおける授業予定	失語症患者の臨床像について映像を通して学ぶ		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	失語症患者の症状を記録することができる	・映像機器 ・配布資料	事前学習として、失語症への理解を深めておく
		各コマにおける授業予定	失語症患者の検査場面について映像を通して学ぶ		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	失語症患者の症状の記録をもとに障害像をイメージすることができる	・映像機器 ・配布資料	事前学習として、失語症への理解を深めておく
		各コマにおける授業予定	失語症患者の記録方法について学ぶ		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	失語症患者の障害像をもとにグループディスカッションすることができる	特になし	事前学習として、失語症への理解を深めておく
		各コマにおける授業予定	失語症患者の障害像について学ぶ		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	症例検討を行い、まとめた内容を発表することができる	特になし	事前学習として、失語症への理解を深めておく
		各コマにおける授業予定	失語症患者の症状のまとめ方及び考え方について学ぶ		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の主なスクリーニング検査について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、嚥下障害への理解を深めておく
		各コマにおける授業予定	嚥下障害のリハビリテーション(入門)について学ぶ		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	初期評価の役割について説明できる 情報収集での留意点について説明できる	配布資料 パワーポイント資料	特になし
		各コマにおける授業予定	初期評価の目的と役割について学ぶ 問診と情報収集について学ぶ		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	各検査の適用範囲と大まかな評価項目を理解し、説明できる	配布資料 パワーポイント資料	特になし
		各コマにおける授業予定	検査の種類と概要、検査の選択について学ぶ		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各検査の使用方法を知り、検査結果の事例から児の発達像をつかむことができる	配布資料 パワーポイント資料	特になし
		各コマにおける授業予定	事例に基づく演習～発達検査と知能検査～ 演習(遠城寺乳幼児分析的発達検査法、新版K式発達検査、WISC-IV知能検査)と評価のまとめを学ぶ		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各検査の使用方法を知り、検査結果の事例から児の発達像をつかむことができる	配布資料 パワーポイント資料	特になし
		各コマにおける授業予定	事例に基づく演習～言語検査～ 演習(国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査、PVT-R 絵画語い発達検査)と評価のまとめを学ぶ		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			